

同 志 社 大 学

2015 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016 年 3 月 21 日提出

所 属	職 名	氏 名
全学共通教養教育センター	准教授	和泉 絵美
研 究 題 目	CEFR-J レベル別基準特性リストの英語教育における有用性の検討	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究の目的は、日本における英語教育の抜本的な改革のため「ことばを使って何をするか」という言語機能主体の到達度指標を新たに設定・具体化することである。今年度は、外国語のためのヨーロッパ共通参照枠(CEFR)を日本に適用すべく作成した CEFR-J に対して、個々の能力記述文に対応する文法・表現・語彙のレベル別リストを詳細に作成し、一般に公開した。そのための手段として、コーパス言語学の分析手法を活用し、大規模学習者コーパスおよび教科書コーパスの分析結果を統合して、真に活用度の高い英語到達度指標の策定も行った。手順の詳細としては、2015 年度までに作成したプロトタイプのリストをもとに、現行の日本における英語カリキュラム、英語教科書、検定試験などの分析を行い、レベル別リストの有用性を多面的に検証すると共に、リストの精鋭化を実施した。今後は、CEFR-J および参照基準記述のセットを使った新しい教科書作りに向けて、言語タスク・言語テストなどのプロトタイプも作成し、活用方法を具体的に提案する予定である。</p>	